

ドライブレコーダー ZDR043

取付説明書 取扱説明書/保証書

保証書

コピー不可

保証規定 (必ずお読みください)

保証期間	ご購入日より3年間
対象部品	フロントカメラ/リヤカメラ ※消耗部品および付属品は除く

1. 保証の内容
取付説明書の内容に従った使用方法で不具合が発生した場合、この保証書に示す保証期間と条件に従って無償修理(保証修理)を受けることができます。
(以下、この無償修理を無償修理とします)

保証修理は部品の交換あるいは製品の交換により行います。ただし保証対象外の部品は保証対象外とさせていただきます。また交換された部品、製品は弊社の所有となります。この保証規定による保証修理の対象は本書記載の対象部品ではありません。

2. 保証修理の受け方
保証修理を受ける場合は、お買い上げの販売店に「保証修理の依頼書」を提出し、修理をお受けください。保証修理の依頼書は、お買い上げの販売店に「保証修理の依頼書」を提出し、修理をお受けください。保証修理の依頼書は、お買い上げの販売店に「保証修理の依頼書」を提出し、修理をお受けください。

3. 保証しない事項
1. 保証期間内でも次のような場合には保証修理いたしません。
(1) 取付説明書に記載されていない「警告・注意・お読みください」その他の記載事項を遵守してなかったことによる故障または損傷。
(2) 車両ドライブレコーダー以外の原因(例えば、住居、船舶、建設機械等)の使用による故障または損傷。
(3) 指定以外 (DC12V) の電源で使用方法、および電源の接続状態などによる故障または損傷。
(4) 弊社とは無関係な第三者の取付行為による故障または損傷。
(5) 修理・分解した後の、改造したため。
(6) お買い上げ後の落下・衝撃・水濡れ・結露などによる故障または損傷。

4. 保証の発効
保証書に必要事項を記入、捺印することにより有効となります。本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

5. 保証の適用
この保証書は日本国内で使用されている場合に適用いたします。
(This warranty is valid only in JAPAN)

6. その他
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証修理を約束するものではありません。この保証書によって保証修理を受ける権利は、保証書に記載されている保証期間中に限り有効となります。保証期間満了後の修理については不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本書は保証規定に明示した条件のもと、無償修理を行うことを約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で万一故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	ZDR043	シリアルNo.	
お買い上げ年月日	お買い上げ日 西暦 年 月 日		
保証期間	お買い上げ日より3年		
対象部分	フロントカメラ/リヤカメラ ※消耗部品および付属品は除く。		
お客様	お名前	様	店名・住所・電話・捺印
	ご住所	〒	
	電話番号	()	

※保証書に販売店名、購入年月日を証明するもの、または購入証明書(領書や領収書)が無い場合は保証対象外として頂きます。またお送り頂く郵送料は保証に含まれておりません。

製品のお取付方法、修理等に関するご相談は、お買い上げの販売店または下記弊社サービスセンターまでお問い合わせください。ただし、お客様ご自身の取付作業に対するサポートは行っておりません。

0800-200-5654
受付時間 10:00~17:00
※土・日・祝日および、年末年始・夏季休暇・GW等、弊社指定期間を除く。

※非通話設定ではお繋ぎできません。恐れ入りますが電話番号の前に「1861」をつけるなど、電話番号を通知していただくこと。 ※携帯電話や公衆電話、050から始まるIP電話からは利用いただけません。また、一部の光電話からもご利用いただけない場合があります。その際は下記番号よりおかけください。

0561-56-1814 (有料)
株式会社E-コムテック
〒470-0151 愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字池上1-1
HP: https://www.e-comtec.co.jp

初版 124032-EM

▲ 注意
本製品が動作した状態(駐車監視モード中含む)でmicroSDカードの抜き挿しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キースイッチをOFF後、本製品のLEDが完全に消灯したことを確認し、microSDカードの抜き挿しを行なってください。

▲ 警告
異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがあるなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。

運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。

エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万一エアバッグが作動した場合は、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。

microSDカードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないが、定期的な点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

▲ 注意
気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。

本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。
・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。
・湿度が高い所やほこりの多い所。

microSDカードを本製品に挿し込む場合、挿し込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。

本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。
・本体に静電気や電気が伝わった場合。
・本体を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。

一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制動に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前、車両の取扱説明書をご確認ください。

ご使用上のご注意
● 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
● 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な保証としての効果を保証するものではありません。
● 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途では使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。

● 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合については、弊社は一切の責任を負いかねます。

● 事故発生時は記録された録画データが書ききれないように、必ずmicroSDカードを抜いて保管してください。

● microSDカードの抜き挿しを行う際は、必ず車両キースイッチをOFFにし、本製品のLEDが完全に消灯したことを確認後、microSDカードを抜いてください。microSDカードへのデータ書き込み中および読み込み中microSDカードの抜き挿しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDカード故障の原因となりますのでご注意ください。

● microSDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

● 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切の責任を負いかねます。
● 万一のデータ消失に備え、必要なデータはバックアップに転写を保存することをおすすめします。

● 本製品は動作温度範囲内で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が正確に記録されない場合があります。

● 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面の表示を行わない、または録画できなくなる場合があります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けると車内の温度を下げてからご使用ください。

● 本製品の動作中、本体表面が高温になることがあります。異常ではありません。

● LED式信号機はLEDが高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する詳細については弊社ホームページをご覧ください。

● 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

● リヤガラスにスモークフィルムが貼られた車両(純正プライバシーガラス装着車除く)や夜間の明かりがない場所などでは、後方の道路状況が見えない映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。

● 一部断熱ガラス(金属コーティング・金属入りなど)、一部熱収縮ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS衛星からの電波が受信できない場合があります。

● 音響野地帯では地上デジタルテレビ放送が映らなくなる場合があります。

● WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、ビューソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

● 本製品にはお買い上げの日から3年間の製品保証がついています。(ただしmicroSDカード、両面テープ、本体内部バッテリー等の消耗品およびその他付属品は保証の対象外となります。)

● 本製品は動作安定性向上のため、ソフトウェア(ファームウェア)のアップデートプログラムを弊社ホームページでご提供いたします。定期的に弊社ホームページをご確認いただき、常に最新のバージョンでの使用を推奨します。※アップデートプログラムのダウンロードにかかる通信費やアップデートに関する作業料はお客様の負担となります。

● 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
● 本製品はDC12V専用です。
● 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
● 部品の交換修理、パーツ購入に関しては販売店にお問い合わせください。
● 本製品の故障による代替商品の貸出は弊社では一切行っておりません。
● 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

● 万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

梱包内容
・ ご使用いただく前に、以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。
・ 万一不足している物があったり、取付説明書に乱丁、落丁があった場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。

ZDR043 フロントカメラ	リヤカメラ
カメラケーブル (約9m)	シガープラグコード (約4m/1Aヒューズ内蔵)
microSDカード (32GB/1枚)	microSDカード (32GB/1枚)
取付ステー固定用両面テープ (1枚)	リヤカメラ固定用両面テープ (1枚)
脱脂用クリーナー (1枚)	取付説明書 (本書/2枚)

※ 取付説明書のイラストと実際の製品では形状が異なる場合があります。

▲ 注意
● microSDカードは消耗品であり、約2~3年を目安に交換をお勧めします。
● microSDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
● microSDカードは駐車監視モードなどの長時間録画を行うと早めの交換が必要になります。
● 付属品以外のmicroSDカードの動作保証は致しかねます。

別売オプション品の詳細については、弊社ホームページをご確認ください。

知っておきたいこと
● GPSとは
「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用して、地上での現在位置を測定するシステムです。

● 衛星データ
本製品は、一旦GPS衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行開始からスタートまで衛星受信ができなくなる場合、再接受信するまでの処理を早めるためです。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS衛星受信と車載電子機器
ナビゲーション本体や、GPSナビゲーションおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離しGPS衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● GPSの速度表示について
GPSでの速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

● 液晶ディスプレイについて
液晶ディスプレイは99.99%以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

● 液晶ディスプレイは周囲の温度が約75℃以上になると液晶ディスプレイの全体が黒くなり、約10℃以下になると画像がズレて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。

● 日時情報保持用の内蔵バッテリーについて
本製品は日時情報を保持するために本製品内部にバッテリーを搭載しています。初めて使用する場合や長期未使用(6ヶ月以上)の場合は、1時間ほど走行し内蔵バッテリーの充電を行ってからご使用ください。

● 内蔵バッテリーは消耗品のため充電を行っても日時情報がリセットされる場合は、裏表紙記載の弊社サービスセンターまでご連絡ください。内蔵バッテリーの交換に関してはお預かり修理での対応となります。

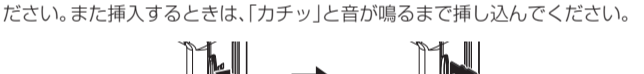
● 本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。通常パソコンなどで使用されているファイルシステム(FATなど)に比べ、保存データの破損が少なく、万一記録データが破損しても復元する確率が高いファイルシステムです。本製品の専用ファイルシステムは記録の繰り返しによるmicroSDカードの断片化が起こらないファイルシステムとなっているため、microSDカードを定期的にフォーマットせずに使用することができます。

● 本機で記録したデータをパソコンなどで削除を行っても、本機に戻すと復元されます。記録したデータを削除する場合は、本体の機能設定メニュー内(SDカードの初期化)より初期化を行ってください。

● パソコンなどでフォーマットを行なったmicroSDカードを本機へ挿入すると(SDカードの初期化)確認画面が表示されますので、そのまま使用する場合は初期化を行ってください。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

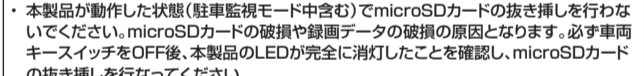
microSDカードの取り出し方について
microSDカードを取り出すときは、車両キースイッチをOFFにして、一度microSDカードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで押し込んでください。



※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側にmicroSDカードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

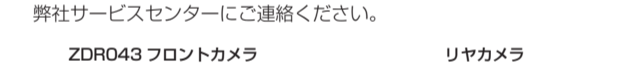
▲ 注意
● 本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SDカードスロット周辺、SDカードは特に高温になります。熱れる際はご注意ください。
● 本製品が動作した状態(駐車監視モード中含む)でmicroSDカードの抜き挿しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キースイッチをOFF後、本製品のLEDが完全に消灯したことを確認し、microSDカードの抜き挿しを行なってください。
● 駐車監視モード動作中は駐車監視モードを終了させ、取り出しを行ってください。
● microSDカードは駐車監視モードなどの長時間録画を行うと早めの交換が必要になります。
● 付属品または弊社別売オプション以外のmicroSDカードの動作保証は致しかねます。

リセットスイッチについて
本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際は、本体のリセットスイッチを先の細い物で押し、本製品のシステムを再起動してください。
※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。



● フロントカメラ下部
リセットスイッチ

各部名称
■ フロントカメラ
ステア角度調整ネジ、カメラ接続端子、GPSアンテナ、電源接続コネクタ、レンズ、通気孔、スピーカー、取付ステー、マイク、スイッチ、マニュアル録画スイッチ、液晶ディスプレイ、LEDランプ



■ フロントカメラ下部
リセットスイッチ、シリアルナンバー、通気孔



■ リヤカメラ
取付ステー、LEDランプ、レンズ、ステア角度調整ネジ、カメラ接続端子



はじめに

安全上のご注意
ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して説明しています。

▲ 警告 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
▲ 注意 この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について

この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
この記号は、しなければならぬ「強制」内容を示しています。
この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。

アドバイス
本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し
スイッチを2秒程度長めに押すことを示しています。

▲ 警告
運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
● 本製品を水につけたり、水をかけたり、また濡れた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

● 本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
● 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。

● 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。
● 穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。

● microSDカードについて
・ 付属のmicroSDカードは本機専用です。
・ 本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
・ 本機の対応microSDカードと付属microSDカードは以下の通りです。
※ 対応microSDカード: 8GB~128GB (class 10推奨)
※ 本機付属microSDカード: 32GB (class 10)

● microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合は約2~3年を目安に交換することをおすすめします。また、使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
※ 寿命がなくなったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。

● 本製品使用時は付属または別売オプションのmicroSDカードを使用してください。弊社製品以外のmicroSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
● microSDカードの寿命が近くなると、起動時にmicroSDカードの交換推奨時期であることをお知らせします。microSDカードの寿命により映像の記録ができなくなる前に早めにmicroSDカードを交換することをおすすめします。
● microSDカードをフォーマットすることと記録されたデータがすべて消去されます。

● 本製品のファイルシステムについて
本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。通常パソコンなどで使用されているファイルシステム(FATなど)に比べ、保存データの破損が少なく、万一記録データが破損しても復元する確率が高いファイルシステムです。本製品の専用ファイルシステムは記録の繰り返しによるmicroSDカードの断片化が起こらないファイルシステムとなっているため、microSDカードを定期的にフォーマットせずに使用することができます。

● 本機で記録したデータをパソコンなどで削除を行っても、本機に戻すと復元されます。記録したデータを削除する場合は、本体の機能設定メニュー内(SDカードの初期化)より初期化を行ってください。

● パソコンなどでフォーマットを行なったmicroSDカードを本機へ挿入すると(SDカードの初期化)確認画面が表示されますので、そのまま使用する場合は初期化を行ってください。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

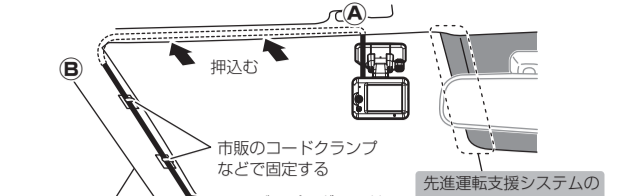
● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

● 本製品はmicroSDカードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

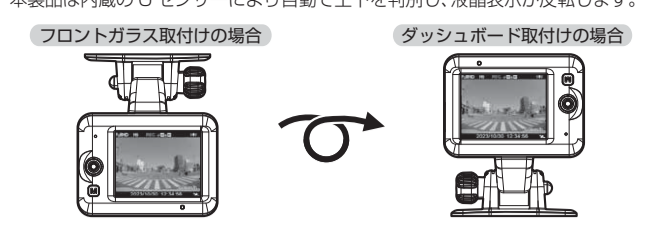
3) シガープラグコードの配線の取回しを行なってください。

- ・④部はルーファイニング内に押し込んでください。
- ・⑤部は市販のコードクランプなどでAビラーに貼り固定してください。
- ※カーテンエアバッグには固定しないでください。カーテンエアバッグ作動不良のおそれがあります。



- ・運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
- ・地デジやラジオ、ワイパー、ETC 等のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- ・先進運転支援システムのカメラやセンサーなどケーブルを這わせて配線を行わないでください。
- ・ケーブルの余長を車両 ECU やフロアモーターなどの付近へ束ねないでください。各装置より離して余長処理を行なってください。

■ダッシュボードに取付ける場合
本製品は内蔵のGセンサーにより自動で上下を判別し、液晶表示が反転します。



注意

- ・自動車の機能の妨げになる場所やエアバッグの展開範囲には取付けしないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たるおそれがあります。
- ・ダッシュボードの形状や素材によっては貼り付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損するおそれがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。

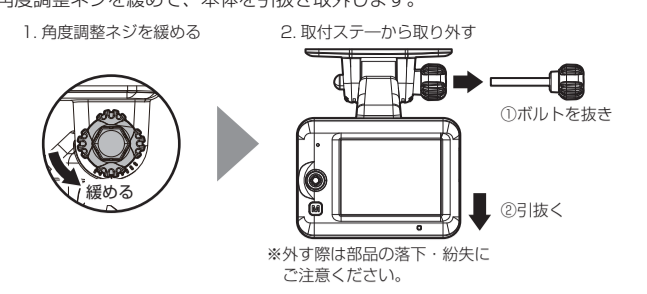
ダッシュボードへの取付けはダッシュボードの熱が伝わり、「高温注意 本体温度が高温のため 録画・再生機能を停止します。」のメッセージ表示がフロントガラスへの取付けに比べやすくなります。頻繁に表示される場合はフロントガラスへの取付けをおすすめします。
※メッセージ表示中は録画を行いません。本体温度が下がるまでお待ちいただき、再起動を行なってください。

高温注意
本体温度が高温のため 録画・再生機能を停止します

アドバイス

- ・画面の上下方向は起動時に判別しているため、使用中にフロントカメラを反転しても画面は反転しません。その場合は、再起動を行なってからご使用ください。
- ・ダッシュボード取付けの場合はカメラケーブルのL字側端子をフロントカメラに接続してご使用ください。

■本体を取外す
角度調整ネジを緩めて、本体を引抜き取外します。

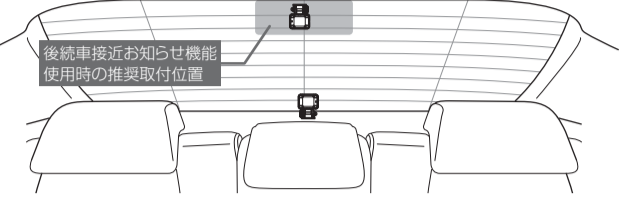


注意

- ・取付後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- ・角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ・定期的なネジの緩みがないか点検を行なってください。

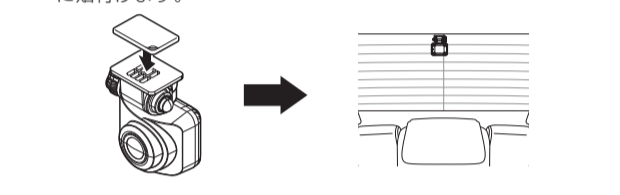
リヤカメラを取り付ける
リヤカメラは必ず下記内容をご確認のうえ、リヤガラスまたはリヤトレイ等に取付けてください。またフロントカメラ取付け時の注意事項も参考にしてください。

- リヤカメラを取り付ける前に下記内容を必ずご確認ください。**
- ・リヤガラスが可動する車両やリヤガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リヤカメラはリヤトレイなどに取付けてください。
 - ・リヤガラスにスモークフィルムが貼られた車両は、後方の道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
 - ・電動リヤサンシェードなど車両の装備と干渉しないことを確認の上、取付けを行なってください。
 - ・ワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。範囲外に取付けるとリヤガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像がぼろくなる場合があります。
 - ・両面テープの貼付面がリヤガラスの電熱線と重ならないように取付けてください。
 - ・ラジオアンテナ付近にリヤカメラの取付けやカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
 - ・後続車接近お知らせ機能を使用する場合、取付位置に条件があるため、リヤガラス上部・中央への取付けを推奨します。



取付方法

- ※ 本書ではリヤガラスへの取付けを例に説明を行います。
- 1) スターの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、リヤカメラの取付角度を前後左右に調整します。調整後にネジを締めます。
 - ・仮固定する際は、市販の粘着力の弱いテープなどを使用してください。
 - ・スター部をリヤガラスに仮あてし、液晶の映像を確認しながらリヤカメラが地面と垂直になるように角度を調整してください。

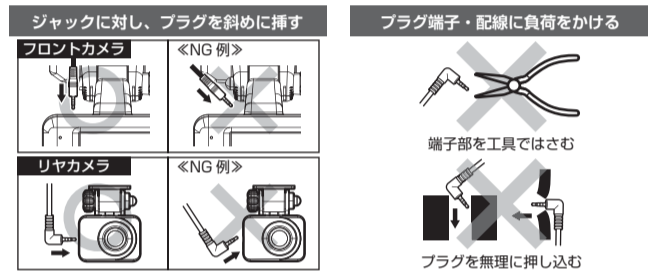


カメラケーブルを配線する

- ※ 本書ではフロントガラス/リヤガラスへの取付けを例に説明を行います。
- 1) カメラケーブルの配線の取回しを行なってください。
 - ※運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
 - ※地デジやETC等のコードと一緒に束ねないようにしてください。

カメラケーブル施工時の注意について

カメラケーブルを抜き挿しする際はプラグ部に荷重がかからないようにまっすぐに抜き挿ししてください。



- 2) リヤカメラのカメラ接続端子に付属のカメラケーブルを「カチッ」と音がるまで押込み接続します。



アドバイス

- ・本体をダッシュボードに取付ける場合は、カメラケーブルのL字側端子をフロントカメラに接続してご使用ください。
- ・フロントカメラをフロントガラスに取付ける場合、カメラケーブルの接続方向に指定はありません。設置する箇所の状況によって、最適な方向で取付けを行なってください。

- 3) フロントカメラのカメラ接続端子にカメラケーブルを接続します。

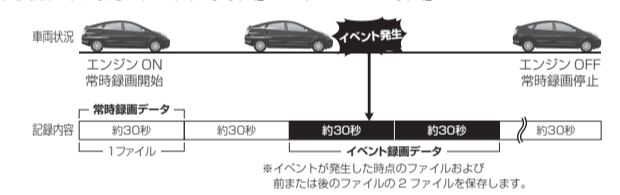


アドバイス

録画面の表示はスイッチを【◀】または【▶】方向へ長押しするたびに、フロントカメラの映像とリヤカメラの映像が切り替わります。

映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



※ イベントが発生した時点のファイルおよび前または後のファイルの2ファイルを保存します。

事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。

アドバイス

- ・microSDカードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから順に上書きして新しいデータを記録します。
- ・起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出したこと、記録されないことがあります。
- ・スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- ・LEDランプが点灯または点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させたか、メッセージを解除してください。

常時録画について

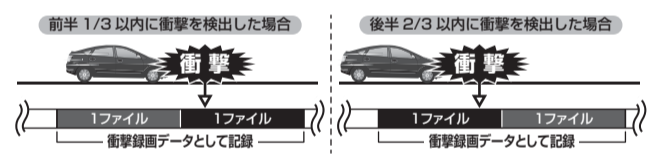
車両キースイッチをONにした後から車両キースイッチをOFFにするまでを、常時録画データとしてmicroSDカードに自動で記録を続けます。
※ 駐車監視常時録画データも常時録画の領域に記録されます。

イベント録画について

- イベント録画には下記の4種類があります。
- 【衝撃録画】..... 衝撃を検出した時点のファイルを記録
 - 【マニュアル録画】..... スイッチ操作した時点のファイルを記録
 - 【後続車接近録画】..... 後続車が接近したことを検出した時点のファイルを記録
 - 【駐車監視衝撃録画】..... 駐車監視モード中に衝撃を検出した時点のファイルを記録

■衝撃録画データ / 駐車監視衝撃録画データ / 駐車監視衝撃クイック録画データ

- ・本製品内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを「衝撃録画データ」として記録します。また、駐車監視モード中に衝撃を検出した場合は「駐車監視衝撃録画データ」として記録します。
- ・駐車監視モード中の録画方式を「衝撃クイック録画」に設定した場合、通常時は動作を停止（スリープ）しています。衝撃を検出すると起動し、起動後の2ファイルの映像を記録後、再度動作を停止（スリープ）します。
- ・Gセンサーの感度は設定により感度調整することができます。



■衝撃クイック録画（駐車監視モード）

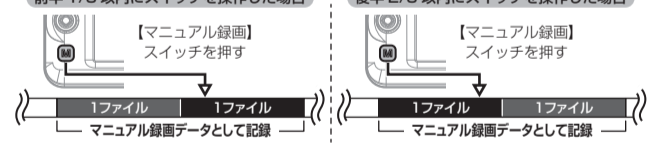
衝撃検出後に起動し、録画を開始するため、衝撃を検出した瞬間の映像は記録できません。

動作停止 → 1ファイル → 1ファイル → 動作停止

起動 → 1ファイル → 1ファイル → 停止

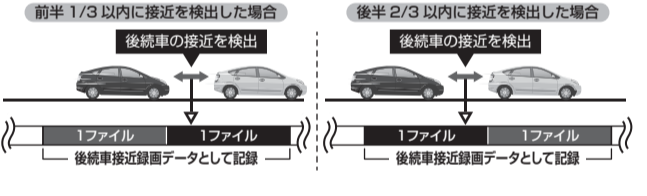
■マニュアル録画データ

・本製品の【マニュアル録画】スイッチを押すと、スイッチを操作した時点のファイルおよび前または次のファイルを「マニュアル録画データ」として記録します。



■後続車接近録画データ

後続車接近お知らせ機能の録画設定を【ON】に設定した場合、後続車が自車に接近したことを検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを「後続車接近録画データ」として記録します。



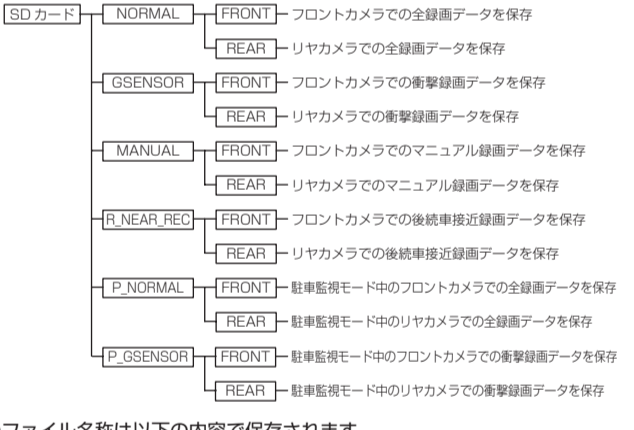
録画領域について

- ・microSDカード全体の80%を常時録画、20%をイベント録画の領域として設定されています。
- ・駐車監視常時録画は常時録画の領域、駐車監視衝撃録画はイベント録画の領域に含まれます。そのため駐車監視モード中に記録上限に達した場合、通常の常時録画データまたはイベント録画データの古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

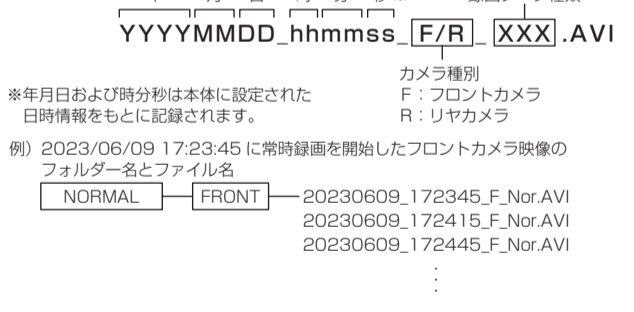


保存先フォルダー名・ファイル名について

本製品が記録したデータは、各項目ごとのフォルダーへ録画を開始した日時・録画データの種類のをもとにしたファイル名で保存されます。



●ファイル名は以下の内容で保存されます。



■録画データ種類部の表示について

表示	内容	表示	内容
Nor	常時録画データ	Gsn	衝撃録画データ
Man	マニュアル録画データ	Rear	後続車接近録画データ
P_Nor	駐車監視常時録画データ	P_Gsn	駐車監視衝撃録画データ

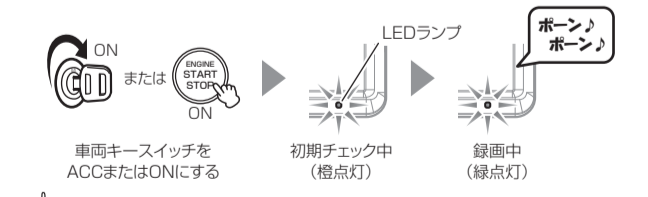
※ また録画状況により下記の内容が忘却される場合があります。

表示	内容	表示	内容
Restore	復元されたデータ	c	高温または低温状態により、録画を終了したデータ
SDExit	録画中に電源OFFされたデータ	s	緊急録画停止機能により録画を終了したデータ
Ret	日時情報が初期化された状態で録画されたデータ	v	電圧低下により駐車監視モードが終了した際のデータ

映像を撮る

録画を開始する（電源をONにする）

車両キースイッチをACCまたはONにしてください。録画が開始されます。



アドバイス

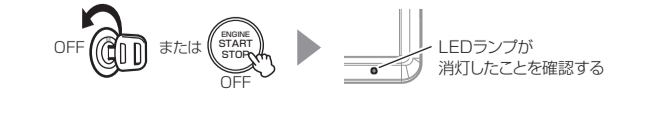
microSDカードチェック機能
本製品では起動時にmicroSDカードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。
※対処方法に関しては【メッセージ確認表】を参照ください。

リヤカメラのLEDランプについて
リヤカメラのLEDランプは起動中に点灯します。点灯しない場合は接続を確認してください。



録画を終了する（電源をOFFにする）

車両キースイッチをOFFにしてください。



録画面面表示



アイコン	表示内容
① FullHD HD	録画サイズの設定を表示
② Hi	高画質設定で記録していることを表示
③ REC REC G	録画種類を表示 REC: 常時録画 REC G: 衝撃録画
④ REC M REC D	REC M: マニュアル録画 REC D: 後続車接近録画
⑤ F H R H	HDR機能が有効であることを表示 F: フロントカメラ R: リヤカメラ H: HDR
⑥ (音波) 音量アイコン	音声録音の設定 (ON 大 / ON 小 / OFF) を表示
⑦ 受信状態アイコン	GPSの受信状態を表示

■液晶表示の切替えについて

録画面面の表示はスイッチを【◀】または【▶】方向へ長押しするたびに、フロントカメラの映像とリヤカメラの映像が切り替わります。



リヤカメラを接続していない映像は切り替わりません。

本体音量を調整する

- ・本体の確認音やアナウンス音、記録映像再生時の音量を【OFF/1~10】の11段階から選択することができます。
- ・音量をOFFに設定していても、メッセージ表示時の効果音は鳴ります。
- ・お買い上げ時は【5】に設定されています。



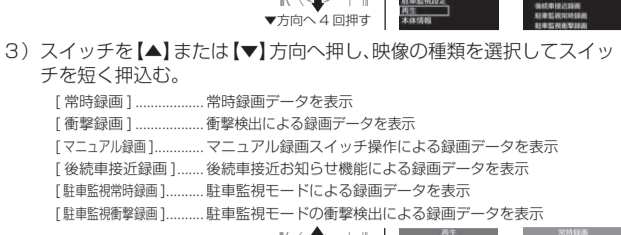


■調整方法

- 録画面面上でスイッチを【▲】または【▼】方向へ長押しし、【音量調整画面】を表示する。

- 【▲】または【▼】で音量を調整する。
【▲】または【▼】の長押しで、押し続ける間1つずつ上げ下げすることもできます。

- スイッチを短く押込むと調整した音量に設定され、録画面面に戻ります。
一定時間操作を行わないと自動的に録画面面に戻ります。(調整した音量は保存されます)

本体で映像を再生する

- 録画面面上でスイッチを長く押し込み、[メインメニュー]を表示する。
- スイッチを【▼】方向へ4回押しし[再生]を選択してスイッチを短く押し込む。
- スイッチを【▲】または【▼】方向へ押し、映像の種類を選択してスイッチを短く押し込む。
【常時録画】……………常時録画データを表示
【衝撃録画】……………衝撃検出による録画データを表示
【マニュアル録画】……………マニュアル録画スイッチ操作による録画データを表示
【後続車接近録画】……………後続車接近お知らせ機能による録画データを表示
【駐車監視常時録画】……………駐車監視モードによる録画データを表示
【駐車監視衝撃録画】……………駐車監視モードの衝撃検出による録画データを表示

- スイッチを【▲】または【▼】方向へ押し、フォルダを選択してスイッチを短く押し込む。
・本体での表示は、フォルダ名称を録画した年月日で表示し、ファイル名称を録画した時分秒で表示します。

- スイッチを【▲】または【▼】方向へ押し、再生するファイルを選択してスイッチを短く押し込むと映像の再生が始まります。

- 再生終了後はスイッチを【◀】方向へ押し、設定画面から抜けることで録画面面に戻ります。

再生画面表示

動作状態を表示
録画サイズを表示
録画種類を表示

再生映像の再生番号／総件数を表示
※再生フォルダ内の件数を表示
撮影日を表示
撮影時間を表示

【録画種類表示部内容】
非表示…常時録画データ D…後続車接近録画データ
G…衝撃録画データ P…駐車監視モード中の常時録画データ
M…マニュアル録画データ PG…駐車監視モード中の衝撃録画データ

■再生画面での操作

スイッチ

スイッチ操作	短押し	長押し
押し込む	再生 / 一時停止を行う	再生中のデータを最初から再生する
【▲】方向へ押し	次のデータへ進む	音量を上げる
【▼】方向へ押し	前のデータへ戻る	音量を下げる
【◀】方向へ押し	ファイルリストに戻る	フロントカメラの映像、リヤカメラの映像を切替える
【▶】方向へ押し	—	フロントカメラの映像、リヤカメラの映像を切替える

フロントカメラの映像とリヤカメラの映像を同時に表示することはできません。
1画面ずつの切替表示となります。

パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、弊社 HP よりダウンロードできる専用ビューソフトを使用することで、加速度などの情報と併せて映像を見ることが出来ます。
※専用ビューソフト以外の再生ソフトを使用すると正常に再生できない場合があります。


アドバイス

- ビューソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS：日本語版 Windows 8.1 / 10 / 11 ※タブレット PC を除く
CPU：Intel Core i5 プロセッサ 2.7GHz 同等以上を推奨
グラフィックス：Intel HD Graphics 620 同等以上を推奨
メモリー：8GB 以上を推奨
モニター解像度：Full HD (1920 × 1080 ピクセル) 以上を推奨
- パソコンの OS アップデートによりビューソフトが正常に動作しなくなった場合は最新版のビューソフトをダウンロードし、お試しください。

ビューソフトを使用する前に

本体から microSD カードを抜いてください。microSD カードを抜く際は、車両キースイッチを OFF し、本体 LED の消灯を確認後、引き抜きます。

- microSD カードを取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。




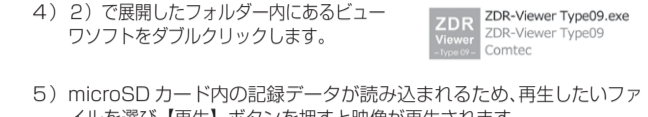



※挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSD カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

注意

- 本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SD カードスロット周辺、SD カードは特に高温になりやすいため、触れる際はご注意ください。
- 本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）で microSD カードの抜き挿しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キースイッチを OFF 後、本製品の LED が完全に消灯したことを確認し、microSD カードの抜き挿しを行なってください。
- ※駐車監視モード動作中は駐車監視モードを終了後、取り出しを行なってください。

ビューソフトを使用する

- 弊社ホームページ(https://www.e-comtec.co.jp/)のお客さまサポート、ビューソフトダウンロードページより専用ビューソフトをダウンロードします。
 - ダウンロードしたファイルを展開します。
 - 本体から抜き取った microSD カードをパソコンへ挿入します。
 - 2) で展開したフォルダ内にあるビューソフトをダブルクリックします。
 - microSD カード内の記録データが読み込まれるため、再生したいファイルを選び【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。
- 専用ビューソフトの詳細に関しては弊社ホームページをご確認ください。

運転支援機能について

- 本製品は安全で快適な運転をサポートする運転支援機能を搭載しています。
- 本機能を使用する場合は必ずキャリブレーション(補正)を行なってください。
- 本製品の運転支援機能は下記の3つの機能を搭載しています。

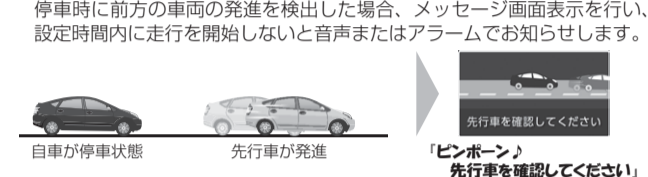
項目	内容
先車発進お知らせ機能	先車発進を検出し、お知らせを行います。
前方信号お知らせ機能	前方の信号機が青信号であることを検出し、お知らせを行います。
後続車接近お知らせ機能	自車への後続車の接近を検出し、お知らせを行います。

運転支援機能をご使用する前に下記内容をご確認ください。

- 運転支援機能は運転者の負担軽減を目的とし、**周辺状況、走行状態の変化を補助的にお知らせする機能**です。すべての周辺状況、走行状態の変化を判断することはできません。お知らせの有無にかかわらず、**必ず運転者が状況・状態を確認してください**。
- 一部機能は GPS を受信していない状態では動作しません。
- 本体の取付位置、角度、ガラスの汚れなどにより正しく動作しない場合があります。
- 画像情報を基に動作するため、**天候(雨・雪・濃霧など)、逆光などにより認識が行えずお知らせできない場合や、先車後続車、信号機以外の周辺物や景色の変化などでもお知らせを行う場合があります**。
- 運転支援機能動作時の表示画面は録画ファイルに記録されません。
- 画面表示が [OFF] の場合、メッセージ画面表示は行いません。

先車発進お知らせ機能

停車時に前方の車両の発進を検出した場合、メッセージ画面表示を行い、設定時間内に走行を開始しないと音声またはアラームでお知らせします。



自車が停車状態 先車が発進

「ピンポン」先車を確認してください

- 自車が停止状態の時のみ動作します。
- 先車との距離、位置や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- 画像情報を基に動作するため、先車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行う場合があります。
- 先車の形状や色により、正しく動作しない場合があります。
- 画面表示設定が [OFF] の場合、メッセージ画面表示は行いません。

前方信号お知らせ機能

停車時に前方の信号機が青信号に変化した場合、メッセージ画面表示を行い、設定時間内に走行を開始しないと音声またはアラームでお知らせします。



自車が停車状態 前方の信号機が青信号に変化

「ピンポン」信号を確認してください

- 自車が停止状態の時のみ動作します。
- 信号機との距離、位置や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- 画像情報を基に動作するため、信号機以外の周辺物や景色の変化でも前方信号お知らせを行う場合があります。
- 画像情報内に複数の信号機が存在する場合、自車進行方向以外の信号機をお知らせする場合があります。
- 信号機の種類、色、明るさにより、正しく動作しない場合があります。
- 矢印信号などは検出できません。
- 画面表示設定が [OFF] の場合、メッセージ画面表示は行いません。

後続車接近お知らせ機能

- 設定した速度以上で走行中に、後続車が設定した距離以内に設定した秒数以上接近したことを検出した場合、メッセージ画面表示を行い、設定時間経過すると音声またはアラームでお知らせします。
- 設定を変更することにより、後続車接近録画データとして保存することもできます。



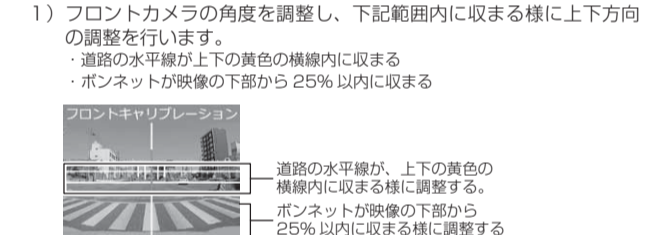
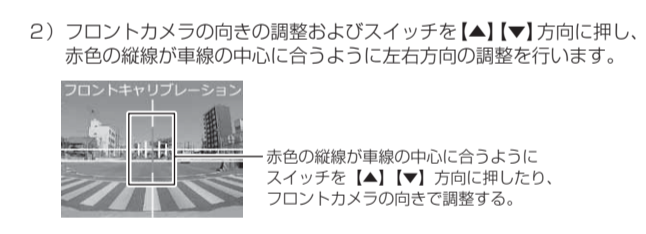
①自車が設定した速度以上で走行中に

②後続車が 1：設定距離以内に 2：設定秒数以上接近する

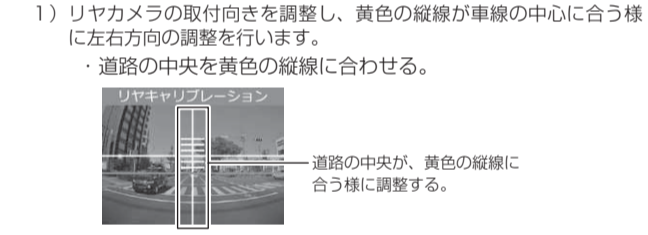
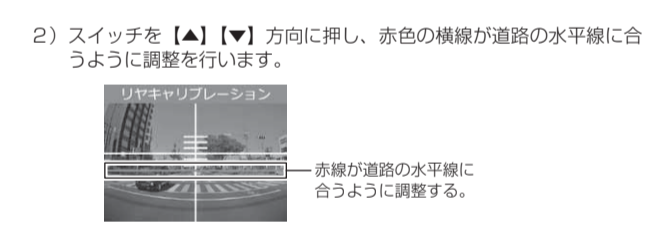
「ビビビビ」後方を確認してください

- GPS を受信していない状態では動作しません。
- 自車および後続車が各設定内容と一致した時のみ動作します。
- 後続車との距離、位置や車線幅、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- 夜間では後続車のヘッドライトの光量により車両位置が判別できず、接近お知らせを行うことができません**。
- 画像情報を基に動作するため、後続車以外の周辺物や景色の変化でも接近お知らせを行う場合があります。
- 後続車の形状や色により、正しく動作しない場合があります。
- 画面表示設定が [OFF] の場合、メッセージ画面表示は行いません。

フロントキャリブレーションを行う場合

- フロントカメラの角度を調整し、下記範囲内に収まる様に上下方向の調整を行います。
 - 道路の水平線が上下の黄色の横線内に収まる
 - ボンネットが映像の下部から 25% 以内に収まる
- フロントカメラの向きの調整およびスイッチを【▲】【▼】方向に押し、赤色の縦線が車線の中心に合うように左右方向の調整を行います。
- 手順 1、2 の調整後、スイッチを短く押し込み完了です。

リヤキャリブレーションを行う場合

- リヤカメラの取付向きを調整し、黄色の縦線が車線の中心に合う様に左右方向の調整を行います。
 - 道路の中央を黄色の縦線に合わせる。
- スイッチを【▲】【▼】方向に押し、赤色の横線が道路の水平線に合うように調整を行います。
- 手順 1、2 の調整後、スイッチを短く押し込み完了です。

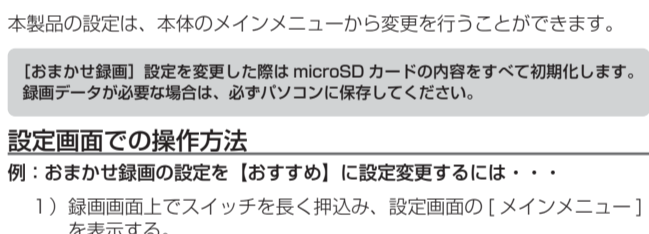
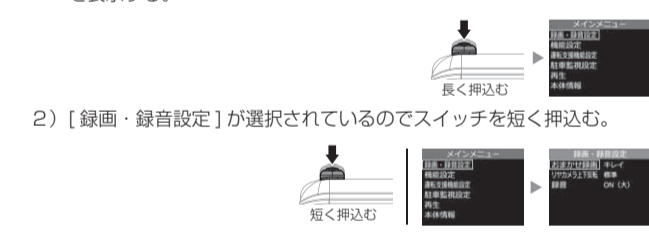
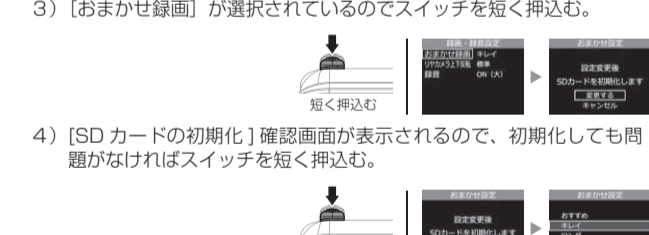

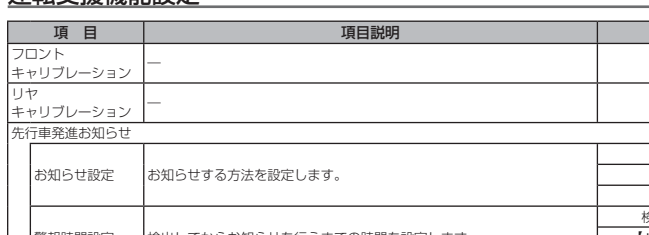
設定方法

本製品の設定は、本体のメインメニューから変更を行うことができます。

【おまかせ録画】設定を変更した際は microSD カードの内容をすべて初期化します。録画データが必要な場合は、必ずパソコンに保存してください。

設定画面での操作方法

例：おまかせ録画の設定を【おすすめ】に設定変更するには・・・

- 録画面面上でスイッチを長く押し込み、設定画面の【メインメニュー】を表示する。
- 【録画・録音設定】が選択されているのでスイッチを短く押し込む。
- 【おまかせ録画】が選択されているのでスイッチを短く押し込む。
- 【SD カードの初期化】確認画面が表示されるので、初期化しても問題がなければスイッチを短く押し込む。
- スイッチを【▲】方向へ1回押しし【おすすめ】を選択する。

設定一覧

項目	項目説明	設定値	設定内容
おまかせ録画設定	記録する映像の録画サイズ、フレームレートを設定します。	おすすめ 【キレイ】 ロング 【標準】	Full HD (1920x1080)、17.5fps で記録を行います。 Full HD (1920x1080)、27.5fps で記録を行います。 HD (1280x720)、17.5fps で記録を行います。 取付ステーを上向きで取付けを行なった際に設定します。
リヤカメラ上下反転設定	リヤカメラで撮影する映像の上下方向を設定します。	反転 OFF	取付ステーを下向きで取付けを行なった際に設定します。 音声の録音を行いません。
録音設定	記録する映像に音声の録音を行うか設定します。	ON (小) OFF 【ON (大)】	小さな音量で音声の録音を行います。 — 大きな音量で音声の録音を行います。

機能設定

項目	項目説明	設定値	設定内容
G センサー設定	衝撃を検出する感度を前後・左右・上下それぞれ設定します。	OFF 0.1G ~ 【0.6G】 ~ 1.0G	衝撃検出での録画を行いません。 0.1G (敏感) ~ 1.0G (鈍感) の設定した感度で衝撃を検出し録画を行います。
緊急録画停止設定	緊急録画停止機能が動作する衝撃感度を設定します。 ※緊急録画停止機能に関しては右記をご確認ください。	OFF 1.1G ~ 【1.5G】 ~ 2.0G	強い衝撃を検出した後も録画を停止しません。 1.1G (敏感) ~ 2.0G (鈍感) の設定した感度で衝撃を検出し録画を停止します。
画面表示設定	録画モード中の液晶ディスプレイの表示内容を設定します。	OFF 時計 【速度運動】 ON	液晶ディスプレイの表示を行いません。スイッチを押込んだ時のみ、液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。 時計とカンタナ™ を常に表示します。スイッチを押し込むと 30 秒間録画映像を表示します。 記録後速度 10km/h 以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示になります。停車後も非表示のままとなりますがスイッチを押し込むことにより、次回 10km/h 以上で走行するまでの間、表示を行います。 液晶ディスプレイを常に表示します。
日時設定	本製品の日時を設定します。	—	—
SD カードの初期化	microSD カードの録画データを消去し初期化を行います。	—	—
工場出荷状態に戻す	本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。	—	—

駐車監視設定

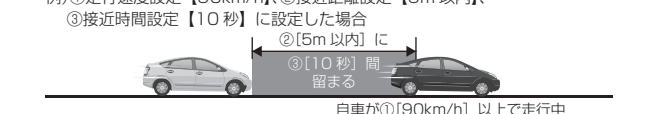
項目	項目説明	設定値	設定内容
駐車監視モード	駐車監視モードの設定をします。	【OFF】 ON	駐車監視モードを設定しません。 駐車監視モードを設定します。
駐車監視録画方式	駐車監視録画方式を設定します。	衝撃クイック 【常時・衝撃】 タイムラプス	駐車監視モード中、衝撃録画のみ記録します。 駐車監視モード中、常時録画および衝撃録画の記録を行います。 駐車監視モード中、1 秒に 1 枚の静止画像を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録を行います。
駐車監視衝撃感度	駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を設定します。	0.02G ~ 【0.08G】 ~ 0.3G	設定した感度で衝撃を検知します。(0.02G 単位で設定可能)
駐車監視録画時間	駐車監視モードの動作時間を設定します。	【30分】 ~ 24時間 常時 ON	設定した時間で駐車監視モードを停止します。(30分・1・3・6・9・12・24時間で設定可能) 駐車監視モードを常時 ON します。
駐車監視録画停止電圧	駐車監視モードを停止する車両バッテリーの電圧を設定します。	11.7V ~ 【12.2V】	設定したバッテリー電圧で駐車監視モードを停止します。(0.1V 単位で設定可能)

運転支援機能設定

項目	項目説明	設定値	設定内容
フロントキャリブレーション	—	—	フロントカメラのキャリブレーションを行います。
リヤキャリブレーション	—	—	リヤカメラのキャリブレーションを行います。
先車発進お知らせ	お知らせする方法を設定します。	【OFF】 音声 アラーム	先車発進お知らせを行いません。 先車発進お知らせを音声で行います。 先車発進お知らせをアラームで行います。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	検出時お知らせ 【+3秒お知らせ】 +5秒お知らせ	前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示と同時にお知らせを行います。 前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示から 3 秒間走行を開始しないとお知らせを行います。 前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示から 5 秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
前方信号お知らせ	お知らせする方法を設定します。	【OFF】 音声 アラーム	前方信号お知らせを行いません。 前方信号お知らせを音声で行います。 前方信号お知らせをアラームで行います。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	検出時お知らせ 【+3秒お知らせ】 +5秒お知らせ	前方信号の発進を検出し、メッセージ画面の表示と同時にお知らせを行います。 後続車の接近を検出し、メッセージ画面の表示から 3 秒間走行を開始しないとお知らせを行います。 後続車の接近を検出し、メッセージ画面の表示から 5 秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
後続車接近お知らせ	お知らせする方法を設定します。	【OFF】 音声 アラーム	後続車接近お知らせを行いません。 後続車接近お知らせを音声で行います。 後続車接近お知らせをアラームで行います。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	検出時お知らせ 【+3秒お知らせ】 +5秒お知らせ	後続車の接近を検出し、メッセージ画面の表示と同時にお知らせを行います。 後続車の接近を検出し、メッセージ画面の表示から 3 秒間走行を開始しないとお知らせを行います。 後続車の接近を検出し、メッセージ画面の表示から 5 秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
録画設定	後続車の接近を検出した時に録画を行うか設定します。	【OFF】 ON	後続車の接近を検出した時も録画を行いません。 ON 後続車の接近を検出した時に録画を行います。
走行速度設定	お知らせせよ録画を行う自車の走行速度を設定します。	50 ~ 【90】 ~ 100km/h	設定速度以上で走行時にお知らせを行います。
接近距離	お知らせせよ録画を行う後続車の接近距離を設定します。	5m 以内 10m 以内	後続車が 5m 以内に接近時にお知らせを行います。 後続車が 10m 以内に接近時にお知らせを行います。
接近時間	お知らせせよ録画を行う後続車の接近時間を設定します。	5秒 【10秒】 15秒	後続車が【接近距離設定】の設定距離以内に 5 秒留まるとお知らせを行います。 後続車が【接近距離設定】の設定距離以内に 10 秒留まるとお知らせを行います。 後続車が【接近距離設定】の設定距離以内に 15 秒留まるとお知らせを行います。

◇後続車接近お知らせ機能の設定動作イメージ

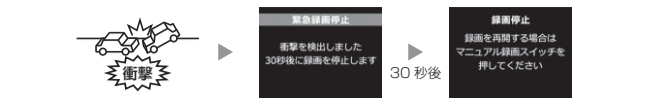
例) ①走行速度設定【90km/h】、②接近距離設定【5m 以内】、③接近時間設定【10 秒】に設定した場合



①【5m 以内】に
②【10 秒】間
留まる
自車が①【90km/h】以上で走行中

緊急録画停止設定について

- 緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 30 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
 - ※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えられた際に録画を停止します。
 - ※ 衝撃を検出する感度を [OFF/1.1G (敏感) ～2.0G (鈍感)] から選択できます。
- お買い上げ時は [1.5G] に設定されています。



マニュアル録画中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

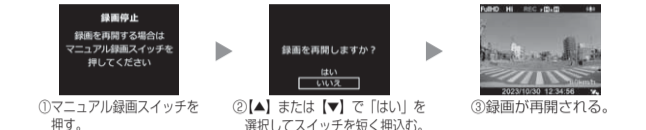
アドバイス

事故にあった際に…

本製品は microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。そのため事故後 microSD カードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場での修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。万一、事故に遭った際に、冷静に本製品の電源を OFF にし microSD カードを抜き、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをお勧めします。

■録画を再開する場合

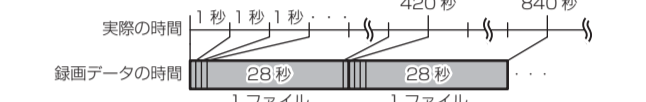
緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。



駐車監視録画設定 - タイムラプス録画について

- タイムラプス録画に設定した場合、1 秒に 1 枚の画像を記録していき、420 秒分の記録を 28 秒の映像で確認することができるように記録を行います。

■タイムラプス録画イメージ



※ おすすめ録画設定の設定により記録できる合計記録時間は異なります。詳しくは [記録時間の目安] をご確認ください。

- 通常の衝撃録画と異なり、上図 [録画データの時間] の前半 10 秒以内に衝撃を検出した場合は前のファイルを、[録画データの時間] の後半 20 秒以内に衝撃を検出した場合は後のファイルを衝撃を検出した時点のファイルとともに [駐車監視衝撃録画] データとして記録します。
- 駐車監視モード中に電源コネクタが抜けたり、常時電源線が断線するなど予期せぬ電源 OFF の際は、録画データが短く (最大 1 秒) 保存される場合があります。

駐車監視録画停止電圧設定について

ハイブリッド車に駐車監視機能を使用する場合、[駐車監視録画停止電圧] 設定は初期設定 [12.2V] でのご使用を推奨しています。

駐車時衝撃検出アナウンスについて

- 駐車監視モード中に衝撃を検出していると、次回起動時に駐車監視モード中に衝撃があったことをアナウンスでお知らせします。

- 車両キースイッチを ACC または ON 後、[駐車監視乗車キャンセル] 設定時間内は、乗車時の振動による衝撃とみなし、上記お知らせは行いません。

メッセージ確認表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
SD カードを確認してください	<ul style="list-style-type: none">microSD カードが未挿入の場合は電源を OFF にし、microSD カードを挿入し、再度起動してください。 microSD カードが故障している可能性があります。電源 OFF 後、microSD カードを抜き、端子部が汚れていないか確認後、microSD カードを挿入し再起動してください。症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行い、お試ください。それでも改善されない場合は microSD カードの寿命が考えられるため、microSD カードの交換をおすすめします。
日時がリセットされています日時を設定してください	日時情報がリセットされた状態で起動した際に表示されます。正確な日時で映像を記録するため日時設定を行ってください。
高温注意 <p>本体温度が高いため録画・再生機能を停止します</p> 低温注意 <p>本体温度が低温のため録画・再生機能を停止します</p>	<p>本体の動作温度範囲を超えているため、正常に動作できません。しばらく時間をおいて動作温度範囲内に戻ってから再起動し、ご使用ください。</p> <p>リヤカメラが正常に動作していない場合に表示されるメッセージです。(降車後 / 乗車前 3 分間に検出した衝撃は除く)</p> <ul style="list-style-type: none">録画データを確認する場合は、【本体で映像を再生する】を参考にメインメニュー [再生] 内の [駐車監視衝撃録画] を選択後、スイッチを押し込み、その後スイッチを ▲ または ▼ 方向に押し、フォルダーを選択してスイッチを押し込んでください。
カメラケーブルの接続を確認してください	<ul style="list-style-type: none">駐車監視録画中に衝撃を検出した際に表示されるメッセージです。(降車後 / 乗車前 3 分間に検出した衝撃は除く) 録画データを確認する場合は、【本体で映像を再生する】を参考にメインメニュー [再生] 内の [駐車監視衝撃録画] を選択後、スイッチを押し込み、その後スイッチを ▲ または ▼ 方向に押し、フォルダーを選択してスイッチを押し込んでください。
SD カードの交換推奨時期です早めの交換をお勧めします	使用中の microSD カードの寿命が近づいた際に表示されるメッセージです。映像の記録ができなくなる前に早めの交換をお勧めします。

※ 上記メッセージ画面表示中は、LED ランプの橙点滅でお知らせします。

駐車監視モードについて

- 別売オプションの HDROP-14 [駐車監視・直接配線コード] を使用することで、車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができます。
- HDROP-14 [駐車監視・直接配線コード] 接続後はメインメニューより [駐車監視モード] の設定を変更してください。接続しただけでは駐車監視モードには移行しません。
- 別売オプションの HDROP-15 [直接配線コード] で接続しても駐車監視モードを使用することはできません。

アドバイス

駐車監視モードを使用する場合は、メインメニューの [本体情報] から本製品への入力電圧を確認し、常時電源線の接続箇所と電圧の差が大きい場合は、常時電源線の接続確認やアース線接続箇所の変更を行ってください。

注意

- 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行ってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますので使用を控えてください。(毎日乗車しない・1 日の走行が 1 時間以下・車両バッテリーを 1 年以上使用している)
- 駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行ってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 長時間録画を行う場合、microSD カードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

駐車監視モード作動中の microSD カードの取り出し方について

駐車監視モード作動中の場合、車両キースイッチを OFF にしても本体は動作しています。そのため microSD カードを抜く際は、**必ずマニュアル録画スイッチを長押しして駐車監視モードを終了し、LED が消灯したことを確認後**、microSD カードを抜いてください。

※本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SD カードスロット周辺、SD カードは特に高温になりやすいため、触れる際はご注意ください。



駐車監視モードについてのご質問

Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？

- A. 本製品の駐車監視モード中は電源 OFF 後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車監視モード設定中でも [駐車監視録画時間] 設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が [駐車監視録画停止電圧] 設定以下になると、駐車監視モードを終了します。また [駐車監視録画方式] 設定を [衝撃クイック録画] に設定している場合、衝撃を未検出状態では本製品は OFF (スリープ) になります。
※ 夏の日差しや冬の寒い日など、駐車監視モード中に本体の動作温度範囲を超えた場合も、駐車監視モードを終了します。あらかじめご了承ください。

Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまふ

- A. 1. [駐車監視モード] 設定が [OFF] になっていないかご確認ください。
2. 本製品は車両バッテリー保護のため、駐車監視録画停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合など、車両キースイッチ OFF 後の車両バッテリーの電圧が [駐車監視録画停止電圧] 設定以下の場合やその付近の場合など駐車監視モードが作動しない場合があります。
3. 電源コードの常時電源線 (黄) を、車両 ACC 線へ接続していたり、未接続だと駐車監視モードへは移行しません。
4. [駐車監視録画方式] 設定を [衝撃クイック録画] に設定している場合、衝撃を未検出状態では本製品は OFF (スリープ) になります。
5. 以下のような状態では駐車監視モードへ移行しません。
・ [microSD カードを確認してください] と表示中
・ [SD カードの初期化] 画面表示中
・ 本体温度の高温または低温による動作停止中
・ 緊急録画停止中

Q. 駐車監視モードの作動確認を行うには？

- A. 駐車監視モード作動中は本体の LED ランプが下記点滅を繰り返します。

状態	LED ランプ
駐車監視降車キャンセル中 (衝撃クイック録画設定時以外)	早い緑点滅
駐車監視降車キャンセル中 (衝撃クイック録画設定時)	早い橙点滅
駐車監視モード作動中 (衝撃クイック録画設定時)	緑 3 回点滅
衝撃クイック録画待機中 (衝撃クイック録画設定時)	橙 3 回点滅
駐車監視モード作動中に衝撃を検出	緑点滅

Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？

- A. 駐車監視モード中はヘッドライトなどの光源が無いため、状況によって鮮明な映像が記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。

記録時間の目安

■microSD カードの容量による記録時間の目安

記録時間は microSD カードの容量、おまかせ録画設定により変動します。
※ 対応 microSD カード：8GB ～ 128GB (class10 以上推奨)
※ 本製品付属 microSD カード：32GB (class10)

おまかせ録画設定	microSD カード容量				
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
おすずめ	約 30 分	約 65 分	約 135 分	約 270 分	約 545 分
キレイ	約 30 分	約 60 分	約 125 分	約 250 分	約 500 分
ロング	約 40 分	約 80 分	約 165 分	約 335 分	約 670 分

※ 太枠は付属 microSD カードを示します。

■駐車監視モード中のタイムラプス録画設定時の記録時間

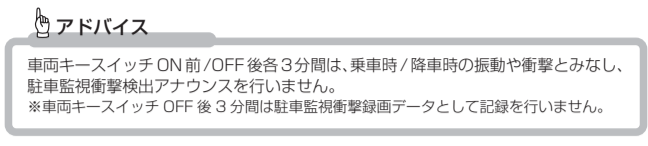
- 駐車監視モード設定を [タイムラプス録画] 設定にした場合、おまかせ録画設定の内容により合計記録時間は可変します。
- 合計記録時間は付属 microSD カード (32GB) の場合の駐車監視常時録画の記録時間になります。
- 1 ファイルあたりに記録される実際の時間 (記録時間) と録画データ自体の長さ (再生時間) は下記表を参考にしてください。

おまかせ録画設定	記録される実際の時間	録画データ自体の長さ	合計記録時間
おすずめ			約 31 時間
キレイ	約 420 秒	約 28 秒	約 29 時間
ロング			約 39 時間

駐車監視モードの動作について

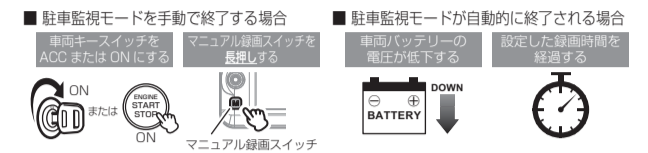
■駐車監視モードに移行する

- HDROP-14 [駐車監視・直接配線コード] を接続後、[駐車監視モード] 設定を [ON] に設定し、車両キースイッチを OFF にすると駐車監視モードに移行します。
- 駐車監視モード動作中は LED ランプが 3 回点滅
■駐車監視モード動作中を繰り返します。
- 駐車監視モード中の常時録画データは「駐車監視常時録画」データとして記録され、衝撃録画データは「駐車監視衝撃録画」データとして記録されます。



■駐車監視モードを終了する

- 駐車監視モードは車両キースイッチが ACC または ON になった時点やマニュアル録画スイッチを**長押し**することで終了させることができます。
- 設定電圧以下になった際や [駐車監視録画時間] 設定で設定した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。



付録

よくあるご質問

症状	ここをチェックしてください。
LED ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードのヒューズが切れていませんか？ ● 接触不良や断線などしていませんか？
GPS 衛星を受信しない。	<ul style="list-style-type: none">● フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？ ● 本体カメラ側に電波を遮断する物はありませんか？ ● SD カードの初期化を行うことで映像を削除することができます。※選択して削除することはできません。
事故の衝撃映像が保存されていない。	<ul style="list-style-type: none">● 事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためマニュアル録画スイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	<ul style="list-style-type: none">● [おすすめ録画] の設定を変更することで記録時間を変更することができます。※上記設定を変更すると microSD カードが初期化されます。
microSD カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	<ul style="list-style-type: none">● microSD カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
microSD カードに録画データが保存されていない。	<ul style="list-style-type: none">● microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。約 2 ～ 3 年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。
本体が熱くなる。	<ul style="list-style-type: none">● 本製品の動作中、本体表面が熱くなりますが異常ではありません。 ● 液晶画面に「高温注意」のメッセージが表示された場合は、しばらく時間をおいて動作温度範囲内に戻ってからご使用ください。
起動しなくなった、動作が不安定になる。	<ul style="list-style-type: none">● microSD カード内に本機以外のデータが保存されていませんか？ ● 必要な映像をパソコンへ保存してから、本体で microSD カードの初期化を行ってください。
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	<ul style="list-style-type: none">● 事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
microSD カードがパソコンで認識されない。	<ul style="list-style-type: none">● お使いの SD カードリーダーは SDHC に対応していますか？付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。

本体を更新する

弊社ホームページより更新データをダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。


アドバイス

- 更新データがある場合、ビューソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)
- 更新方法の詳細はホームページをご確認ください。ただし更新データがない場合、掲載はありません。

本体情報を確認する

録画画面上でスイッチを長く押し込み、[メインメニュー] → [本体情報] により、本製品の入力電圧とソフトウェアバージョンを確認できます。

商標について

- microSDHC および microSDXC は SD アソシエーションの登録商標です。
- microSDHC ロゴ、microSDXC ロゴ は SD-3C LLC の商標です。

- Windows はアメリカ合衆国 Microsoft Corporation のアメリカ合衆国およびその他の国における登録商標です。
- Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。
- Intel Core はアメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている各種名称や会社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

ワンタイム駐車監視モード機能

- 通常駐車監視モード設定を [OFF] に設定していても、マニュアル録画スイッチを**長押し**することで、一時的に駐車監視モードを ON にすることができます。
- 車両キースイッチの OFF 後でも、マニュアル録画スイッチを**長押し**した時点から駐車監視モードを開始することができます。
- 外出先でのみ駐車監視モードを使用したい場合などにご使用することをおすすめします。

アドバイス

- 「ワンタイム駐車監視モード」による駐車監視モードも、通常の駐車監視モード時の詳細設定が反映されます。
- 「ワンタイム駐車監視モード」は、車両キースイッチを ON にし、本体の電源を ON にすることで解除され、[駐車監視モード設定] による設定に戻ります。

駐車監視モードパス機能

- 通常駐車監視モード設定を [ON] に設定していても、マニュアル録画スイッチを**長押し**することで、一時的に駐車監視モードを OFF にすることができます。また駐車監視モード中に操作を行うことで、駐車監視モードを終了することができます。
- 機械式立体駐車場や振動の多い場所、風の強い日など、本製品が衝撃を検出してしまうような場所へ駐車する際にご使用することをおすすめします。

アドバイス

「駐車監視モードパス機能」は、車両キースイッチを ON にし、本体の電源を ON にすることで解除され、[駐車監視モード設定] による設定に戻ります。

LED ランプ確認表

本体動作時の LED ランプの確認表です。

フロントカメラ LED 表示	リヤカメラ LED 表示	本体動作	内容
緑点灯		録画中	録画中
緑点滅	緑点灯	録画中	・ イベント録画中
早い緑点滅			・ 駐車監視モード中の衝撃録画中
緑 3 回点滅		録画中	・ 駐車監視降車キャンセル中 (衝撃クイック録画設定時以外)
早い橙点滅	消灯	録画停止	・ 駐車監視モード動作中 (衝撃クイック録画設定時以外)
橙 3 回点滅			・ 駐車監視降車キャンセル中 (衝撃クイック録画設定時)
橙点灯	緑点灯	録画停止	・ 起動中 ・ 設定モード中 ・ 再生モード中
橙点滅			・ 本体温度の高温または低温による動作停止中
緑・橙交互点滅		録画停止	・ メッセージ表示中 ・ 緊急録画停止中
		録画停止	本体ソフトウェアのアップデート中

電源電圧	DC12V																				
最大消費電流	通常時：350mA 以下 / スーパーキャパシタ充電時：580mA 以下																				
動作温度範囲	-10℃ ～ 60℃																				
カメラ	<table> <tbody><tr> <th>フロントカメラ</th> <th>リヤカメラ</th></tr> <tr> <td>撮像素子</td> <td>1/2.7 型 CMOS センサー</td> <td>1/2.7 型 CMOS センサー</td></tr> <tr> <td>総画素数</td> <td>200 万画素</td> <td>200 万画素</td></tr> <tr> <td>有効画素数</td> <td>最大 200 万画素</td> <td>最大 200 万画素</td></tr> <tr> <td>レンズ画角</td> <td>水平 114° 垂直 59° (対角 139°)</td> <td>水平 114° 垂直 59° (対角 139°)</td></tr> <tr> <td>F 値</td> <td>F2.1</td> <td>F2.1</td></tr> <tr> <td>レンズ材質</td> <td>ガラス</td> <td>ガラス</td></tr> </tbody></table>	フロントカメラ	リヤカメラ	撮像素子	1/2.7 型 CMOS センサー	1/2.7 型 CMOS センサー	総画素数	200 万画素	200 万画素	有効画素数	最大 200 万画素	最大 200 万画素	レンズ画角	水平 114° 垂直 59° (対角 139°)	水平 114° 垂直 59° (対角 139°)	F 値	F2.1	F2.1	レンズ材質	ガラス	ガラス
フロントカメラ	リヤカメラ																				
撮像素子	1/2.7 型 CMOS センサー	1/2.7 型 CMOS センサー																			
総画素数	200 万画素	200 万画素																			
有効画素数	最大 200 万画素	最大 200 万画素																			
レンズ画角	水平 114° 垂直 59° (対角 139°)	水平 114° 垂直 59° (対角 139°)																			
F 値	F2.1	F2.1																			
レンズ材質	ガラス	ガラス																			
記録映像サイズ	FullHD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720)																				
録画画質	おすずめ：平均 10Mbps /キレイ：平均 12Mbps /ロング：平均 8Mbps																				
GPS	○																				
G センサー	○ (0.1G ～ 1.0G : 0.1G 単位で設定可)																				
記録方式	常時録画 / イベント録画 (衝撃録画 / マニュアル録画 (手動録画) / 後続車接近録画)																				
録画ファイル構成	30 秒単位																				
音声録音	ON/OFF 可能																				
フレームレート	27.5fps / 17.5fps / 1fps (タイムラプス録画※駐車監視中のみ)																				
映像ファイル形式	AVI (MPEG-4 AVC / H.264)																				
記録映像再生方法	専用ビューソフト※ Windows8.1/10/11 専用 (タブレット PC 除く)																				
記録媒体	本体液晶																				
	microSD カード (付属：32GB/class10)																				
	8 ～ 128GB 対応 class10 推奨																				
液晶サイズ	2.0 インチフルカラー TFT 液晶																				
本体サイズ	<table> <tbody><tr> <th>フロントカメラ</th> <th>リヤカメラ</th></tr> <tr> <td>67(W)×49.3(H)×30.9(D)/mm</td> <td>39(W)×29(H)×28.2(D)/mm</td></tr> <tr> <td>取付ステー装着時</td> <td>67(W)×77.5(H)×30.9(D)/mm</td> <td>39(W)×47.7(H)×28.2(D)/mm</td></tr> <tr> <td>重量</td> <td>108.9g</td> <td>28.8g</td></tr> </tbody></table>	フロントカメラ	リヤカメラ	67(W)×49.3(H)×30.9(D)/mm	39(W)×29(H)×28.2(D)/mm	取付ステー装着時	67(W)×77.5(H)×30.9(D)/mm	39(W)×47.7(H)×28.2(D)/mm	重量	108.9g	28.8g										
フロントカメラ	リヤカメラ																				
67(W)×49.3(H)×30.9(D)/mm	39(W)×29(H)×28.2(D)/mm																				
取付ステー装着時	67(W)×77.5(H)×30.9(D)/mm	39(W)×47.7(H)×28.2(D)/mm																			
重量	108.9g	28.8g																			

※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

■カメラ画角イメージ

